

せいしょかしよ そうせいき しょう
聖書箇所：創世記 3 章

◆今日のみことば

「あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。」創世記 3 章 19 節

◆メッセージ

わたし しょうがくせい いがくねん はじ だいじ ひと し けいけん
私は小学生低学年のころに初めて大事な人が死ぬ経験をしました。それはおじいちゃんだったので、からだは動かなくなり、2～3日後には焼かれて骨になってしまいました。それを見ていつか自分もこうなるのだと思ったとき、とても怖くなったことを覚えています。

人はなぜ死んでしまうのでしょうか。神さまがもともと人を死ぬものとして創造されたかというところではありません。たとえば私たちのからだの中にある骨は、約3年毎に新しい骨に入れ替わるよう造られています。神さまは、人を死ぬことなくずっと生き続けることができるように造られたのです。ところが、それが原因で、人は永遠に生きることができなくなりました。それは人が神さまのことに従わず罪を犯したからです。神さまから「善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べる時、あなたは必ず死ぬ。」(創世記 2：17)とされていたのに、人はその木の実を食べてしまったのです。その結果、人は死んで土のちりに帰ることになり（19節）、神は人が永遠に生きることがないようにされました（22節）。

せいしょ わたし つみびと おし
聖書は、私たちはみな罪人だと教えています。だからみな死んで土のちりに帰るのです。しかし神さまは私たちをお見捨てにはならず、私たちのために救い主イエス・キリストを送ってくださいました。そして私たちの罪の身代わりとなってイエスさまは十字架に架かって死んでくださったのです。イエスさまは言われました。「わたしを信じる者は死んでも生きるのです」（ヨハネ 11：25）。「生きる」とは永遠に生きるということです。大事な人が死んでしまったことは本当に悲しいことですが、クリスチャンは死んでもイエスさまのお約束のとおり今は天の御国で生きています。もしあなたがまだイエスさまのことを信じていないならば、自分の罪を悔い改めて、イエスさまを信じて神さまから死んでも生きるいのちをいただきましょう。

◆お祈り

「天の父なる神さま、私は罪を悔い改めて、私の罪のために死んでくださったイエスさまを信じます。神さまがお約束してくださった永遠のいのちをお与えください。いつかまた死んでしまった〇〇〇と天国で会えることを感謝します。」

(石神井福音教会牧師 畑中洋人)